

東光寺たより53

納骨のお参り♪

そして誰もいなくなった♪

前回の入門試験の続きです。帰れというとののが分らないのか等の罵声を浴びつつ、夕刻になると、足元暗くなるから今晚は泊まってゆきなさいと。一応は座敷に上げてはもらえるものの、只管壁に向かって夕食と茶礼とトイレ以外は座禅です。21時に布団で横になり、明朝また追い出され、玄関先でおなじみの行をこなしている最中に、お参りの団体が和尚さんと一緒にやってきて、それはそれは賑やかでべちゃくちゃ喋って騒々しかったのですが、玄関先で這いつくばっている小生の姿を見て皆、静かにしてくださいと引率の和尚さんが言ってくれたのが印象的でした。時に平成8年の事です。この瞬間の苦しみを知ってるからこそ発した声掛けでしたね。こうして3日目から独りで壁に向かってほっとかれる行に突入です。入門試験第2弾ですね。この時の心境がまさに表記のタイトルです。

故人は住職とは同い年で夭逝されたのは去年の年末であり満中陰の時に納骨も依頼されてはいましたが天候の都合で2月も中旬に納骨させていただきました。住職は他のお参りと被っていましたので前住職にお願いしました。無事に厳修の運びとなり、ホッとしたのと同様に、この身体は借り物。いずれは天に返す時が巡ってくるのだと思う所がありました。

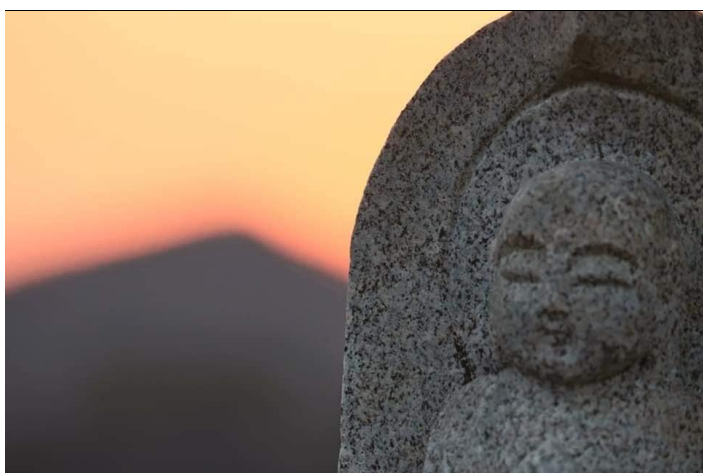


49日のお参り♪

故人は正月が過ぎて新年最初のお吊いをさせていただいた方でした。今でも思い出すのは、正月行事も終わり、ホッと一息つくか？つかないか？という朝の時、一本の電話により慌ただしい一日が・・・そう思えば、49日は穏やかに晴れて長い冬が終わりを・・・

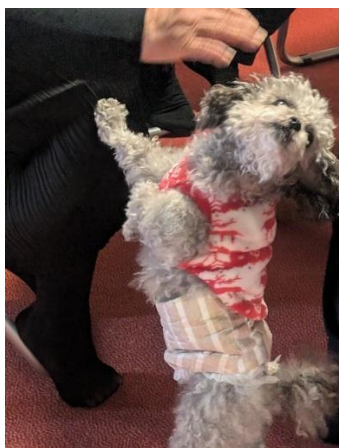


とある日の夕陽♪



3回忌のお参り♪

ボクもお参りするんだわん🐶 遠くから当山にお参りがござっているのだから接待に励むボクです。隆和尚が法話で故人が寂しくないように振舞ってくれてるって説明してくれたんだけど、ボクはボクの役割を果たす事が大事なんだな。寂しさを少しでも癒しつつ、お参りのお客さんが少しでも法事が出来て良かったなと思ってくれると嬉しいんだな。



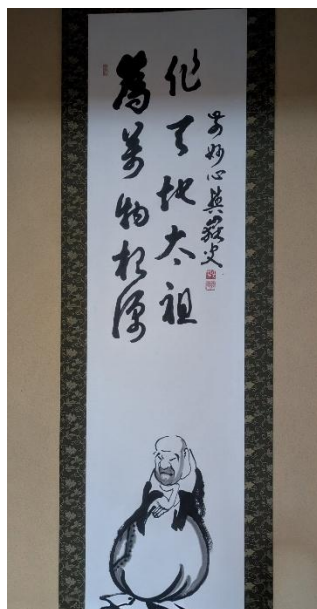
ふきのとうを調理します♪

境内にもふきのとうが生えていよいよ春だと感じずにはいられません。早速調理します。やはり味噌でしょうか？ふきのとうには等と思い実食しましたところ美味しい苦さでございました。その他、タラの芽やわらびも良いですよ。



春は萬物の根源♪

床の間の軸にも書かれている萬物の根源は春の到来を教えてくれていますね。春は自然界の再生と命の始まりを象徴していると。転じて季節以上の意味をなし、人の生活や思想に根差した存在であると住職は思うようになりました。



中日ファンな故人

濃尾は中日のお膝元ですね。野球は？と訊くと中日が圧倒的に多く、住職は中日の投手陣に注目していますしほぼほぼ故人の多くは中日が好きだったと傾向が強い訳です。折しも野球はWBCですね。大谷翔平をはじめ、中日の選手の高橋宏斗も強化試合で投げてましたね。どの選手も前大会に比べて成長著しいのは明らか。故人の好きだった野球、特に中日の動向をテレビで見たりして故人を偲ぶ住職。それが供養に繋がりますとお伝えしました。時に中日も沖縄でのキャンプには大勢のファンが詰めかけている画がニュースで流れて選手のファンサービスが功を奏しているのでしょうか。故人の魂も邂逅している。そんな一刻を想像する住職でした。

